

子育て支援インタビュー C班

飯島千尋 大道のあ 齋藤晴生 遠矢勇輝
奥泉海斗 佐藤慶 佐野広空 山田えりさ

Y様にお伺いしたかった理由

Y様（2014年卒） A社→B社へ転職

両社共に民間の大企業であるが、A社は国営公社の要素を含む企業である。

職務内容だけでなく福利厚生も異なる2社で働かれた経歴をお持ちなので、子育て支援につき、様々な観点から比較検討したいと考えた。

A社の子育て支援制度

- ・ 育休制度は公務員寄りで手厚い
- ・ 育休は子供が3歳になるまで取得可能
- ・ 部署によっては、リモート勤務可能
- ・ 産前産後休暇中の給与はフルタイムと同等
- ・ 地方の支社への転勤が昇進に繋がるため、育休の取得が悪影響になる場合がある

B社の子育て支援制度

- ・ 子育て支援制度は最低限で法定ギリギリのライン
- ・ 子どもが小3までの間は、時短勤務が可能
- ・ リモート勤務可能
 - 異動や転勤が少ない
 - 会社に出勤したい人が出勤する制度
- ・ 昇進するためには、試験で合格する必要性あり

A社とB社の比較

| | A社 | B社 |
|--------------|---|--|
| リモート勤務 | 部署によっては可能 | 可能 |
| 子育て支援制度/育休制度 | <ul style="list-style-type: none">・ 育休制度は手厚い・ 子どもが3歳になるまで取得可 | <ul style="list-style-type: none">・ 子育て支援制度は最低限・ 子どもが小3になるまで時短勤務可 |
| 男性の育休 | 半年ほど | チーム内で2週間 |
| 昇進 | 育休取得の影響あり | 影響なし |

意見

- ・ 男性が育休を取得しても、将来のキャリアに影響がないという保証をしてほしい
 - 試験で昇進の認定であれば、育休取得があまり影響がない
- ・ 転勤が多い企業の昇進システムの改善
 - エリア限定する、転勤のタイミングを柔軟にする等
- ・ 時間面→企業、金銭面→国
- ・ 障がいをもつ子どもと共働き

ご清聴ありがとうございました